前述の如く今年は、実にはげしく宣傳運動が行はれた、
殊に前半期よりも後半期に於て激烈の度を加へた。
兎も角も今年に於ける左傾運動中の目立つた事は
これを分ければ、共産主義的人間の出現、有識階級
排斥運動、工場法案、横濱方面の、
この流[illegible]遅延化起つた問題、左傾思潮としてはボルシエビ
ズムの濃厚となつた事である。（それに関連して今年
大杉氏と殆んど同一の立場にあると信ぜられて居た
山川均氏や荒畑寒村氏等も今は有力なボルシエビ
ズムの主張者となつた、そればかりでなく労働總同盟の一派
すへうりも事件に據して「左川たり呉大杉君」と叫ぶ
山川氏及荒畑氏等も亦「ボルシエビズム」に對する大杉君の昨
破なる批評を爲すに迄も至つた
其他社會主義者派から労働運動者への指導者的精神
と其の反對論が猛烈に行はれたのに對して、労働組合主
義に還れの旗幟一派が對峙した事も注目すべき事で
あらうと思ふ。
とりし。